

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 65

令和4年(2022)
1月27日

おもな
内容

新年のご挨拶・議会構成 …	2～3
補正予算・条例改正ほか …	4～5
一般質問 ……………	6～19
委員会報告 ……………	20～21
意見書提出・議会日誌ほか …	22
質疑・質問効果の点検、検証 …	23
みんなの広場 ……………	24

トピックス 新しい議会構成が決まる！
子育て世帯への臨時特別給付金現金10万円一括交付！



翔け！

新成人 新しい時代を切り拓け！

令和4年1月9日（夢ホールにて）

新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、お健やかに、初春を迎えられましたことと心からお喜び申し上げます。

日ごろから町議会活動にあたたかいご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

町議会は、昨年11月の選挙により、皆さまの付託を受けた16人の議員で新たなスタートを切りました。私は、臨時会において議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さに対する引き締まる思いです。

議会では傍聴者も増え、議会に対する住民の皆さまの注目度と期待が高まっていることを実感いたします。緊張感を持ちつつ、風通しが良い、自由な発言ができる議会運営を進めてまいります。町民の皆様の声をしっかりと聞き、行政と真摯に議論を重ね、共に知恵を出し合って、将来を見据えたまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

さて、2022年は寅年（壬寅）です。この干支は「厳しい冬を越え、芽吹きはじめ、新しい成長の礎となる」年であるそうです。

本年は、七釜温泉の公衆浴場がオープンして60周年、浜坂温泉の各戸配湯から40周年にあたります。さらに公立浜坂病院の移転新築40周年、美方広域消防本部発足40周年でもあります。温泉という天賦の恵みをさらに活用するとともに、医療、救急、防災など住民の皆様の安心と安全を守る取組を一層進め、本年が、わが町の新しい成長の礎になるよう傾注いたします。

結びに、皆様のお一人お一人のより一層のご活躍を期待するとともに、令和4年が健康で幸多き年でありますよう心から祈りし、新年のごあいさついたします。

議長 宮本 泰男
副議長 中村 茂
議員 西村 龍平

岡坂 遼太
澤田 俊之
米田 雅代
森田 善幸
浜田 直子
河越 忠志
重本 静男
竹内 敬一郎
岩本 修作
池田 宜広
中井 勝
中井 次郎
小林 俊之
(議席番号順)



議会構成

新温泉町議会では2年毎に議会構成が変わります。令和3年11月17日
第110回臨時会において新体制が決まりましたのでお知らせします。

議長 宮本 泰男
副議長 中村 茂

◎は委員長
○は副委員長

総務産建常任委員会 (7名)

◎ 竹 内 敬一郎	所管
○ 澤 田 俊 之	総務課
中 村 茂	企画課
西 村 龍 平	税務課
池 田 宜 広	出納室
中 井 勝	議会事務局
中 井 次 郎	教育委員会
	商工観光課
	農林水産課
	建設課
	牧場公園課

民生教育常任委員会 (8名)

◎ 浜 田 直 子	所管
○ 森 田 善 幸	こども教育課
岡 坂 遼 太	生涯教育課
米 田 雅 代	町民安全課
河 越 忠 志	健康福祉課
重 本 静 男	公立浜坂病院
岩 本 修 作	介護老人保健施設ささゆり
小 林 俊 之	上下水道課

議会運営委員会 (6名)

◎ 中 井 次 郎	所管
○ 重 本 静 男	議会の運営全般及び
浜 田 直 子	議長諮問の協議
竹 内 敬一郎	
中 井 勝	
小 林 俊 之	

議会広報調査特別委員会 (6名)

◎ 森 田 善 幸	所管
○ 岡 坂 遼 太	議会広報の編集
中 村 茂	発行 (年4回)
西 村 龍 平	
澤 田 俊 之	
米 田 雅 代	

議 会 選 出

美方郡広域事務組合

西 村 龍 平
森 田 善 幸
重 本 静 男
池 田 宜 広
中 井 次 郎

北但行政事務組合

竹 内 敬一郎
小 林 俊 之

但馬広域行政事務組合

宮 本 泰 男

監査委員

小 林 俊 之

子育て世帯への臨時特別給付金 追加議案で現金10万円一括交付！

12月定例会のあらまし

第112回（令和3年12月）定例会が12月8日に招集され、21日まで14日間の会期で開催されました。町長提出案件は、条例案5件、補正予算案11件の合計16件が提出されました。審議の結果、全て原案通り可決しました。

条 例 案

**新温泉町国民健康保険
条例の一部を改正
する条例の制定**

Q 減額分の負担は。

A 国1／2、県1／4、町1／4である。

Q 町の財源は。

A 交付税で措置される。

（21ページに内容記載）

**新温泉町交通安全対策
基金条例の制定**

Q 基金の運用方法は。

A 具体的なものは計画していない。地域要望に依っていく。

（21ページに内容記載）

**新温泉町企業立地促進
条例の一部を改正
する条例制定**

Q 対象の事業所は。

A 現在はなし。来年は1社を予定。

**新温泉町水産振興事業
分担金徴収条例の
一部を改正する条例
制定**

説明

漁港施設整備に係る受益者負担金について、老朽化に伴う維持補修といった機能の保全を図るものについては、兵庫県が管理する漁港（浜坂・諸寄・

居組）と同様に新温泉町が管理する漁港（三尾・釜屋）についても分担金を徴収しないこととし、新温泉町の漁港間における公平性の確保を図る。

Q 以前、釜屋港で地元負担金が高くて断念した事業があったが、町が負担出来るのか。

A “改良”という区分になるので分担金が発生する。改良と補修が混在する時は実施に当たり十分に検討する。



▶条例改正で町営漁港の維持補修は分担金を負担しなくてもよくなった

補 正 予 算

令和3年度一般会計
補正予算（第6号）

説明 主な増額は、ワ

クチン集団接種にかか
る事業委託料等の追加
措置、町内の小中学校
の教育環境改善や牧場
公園のグリーンシーズ
ン誘客対策支援等。

新規わな免許取得者
確保対策事業

Q 対象者の増加とい

うことだが、元々の予
算立ての見込みは何人
で何人増えたのか。

A 見込み数17名で実績は24名である。



▶わな猫で使われる仕掛け

令和3年度一般会計
補正予算（第7号）

9,009万9千円

説明 子育て世帯への

臨時特別給付金給付事業（全額国庫）補正第5号の5万円と併せて10万円一括給付でプッシュ型。対象者児童は①令和3年9月分の児童手当（本則給付）の支給対象となる児童②9月30日時点での高校生の児童③令和4年3月31日までに生まれた児童手当（本則給付）の支給対象児童。

Q 所得制限で対象外となる保護者と児童数は。

A 保護者21名、児童数48名である。

令和3年度11・12月補正予算（一般会計 特別会計 企業会計）

（単位：千円）

会 計 名			補正額	補正後予算額
一 般 会 計			422,654	11,985,799
特 別 会 計	国民健康保険	事 業 勘 定	164,400	1,834,388
		八田診療施設勘定	24	16,724
		歯科診療施設勘定	71	58,518
	後 期 高 齢 者 医 療		△ 2,326	235,135
	介 護 保 険 事 業		23,303	1,891,178
	浜 坂 地 区 残 土 処 分 事 業		42	225,970
	温 泉 地 区 残 土 処 分 事 業		83	44,152
	公営企業会計 （支出）			
	浜 坂 温 泉 配 湯 事 業		△ 212	76,916
	水 道 事 業		1,052	913,594
	下 水 道 事 業		222	1,389,156
	公 立 浜 坂 病 院 事 業		5,874	1,624,552

令和3年12月 第112回定例会 提出議案一覧

発案番号	件 名
議案第97号	新温泉町国民健康保険税条例の一部改正について
議案第98号	新温泉町交通安全対策基金条例の制定について
議案第99号	新温泉町国民健康保険条例の一部改正について
議案第100号	新温泉町企業立地促進条例の一部改正について
議案第101号	新温泉町水産振興事業分担金徴収条例の一部改正について
議案第102号	令和3年度新温泉町一般会計補正予算（第6号）について
議案第103号	令和3年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について
議案第104号	令和3年度新温泉町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
議案第105号	令和3年度新温泉町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について
議案第106号	令和3年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算（第3号）について
議案第107号	令和3年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計補正予算（第3号）について
議案第108号	令和3年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計補正予算（第2号）について
議案第109号	令和3年度新温泉町水道事業会計補正予算（第3号）について
議案第110号	令和3年度新温泉町下水道事業会計補正予算（第2号）について
議案第111号	令和3年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算（第3号）について
議案第112号	令和3年度新温泉町一般会計補正予算（第7号）について
意見書案第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
7	河越 忠志 議員 ①西村町政二期目の運営について【掲載】 ②浜坂地域の認定こども園整備方針と本町の少子化対策について	13	米田 雅代 議員 ①居組の孤立について ②ユートピア浜坂改修工事期間中の当施設の休館対応について ③浜坂認定こども園について【掲載】
8	森田 善幸 議員 ①浜坂認定こども園の今後【掲載】 ②中心市街地の活性化 ③ワーケーションの推進について ④新型コロナウイルス感染症の経済対策	14	岡坂 遼太 議員 ①子どもたちの学びの機会・環境を確保するために【掲載】 ②おんせん天国の取り組みについて【掲載】
9	竹内 敬一郎 議員 ①地方創生に向けたSDGsの推進【掲載】 ②マイナンバーカードの推進【掲載】 ③がん対策【掲載】	15	岩本 修作 議員 ①浜坂認定こども園移転、改築の今後について【掲載】 ②防犯カメラ（防犯灯）の設置について【掲載】 ③小学校、中学校の統合について【掲載】
10	中井 次郎 議員 ①浜坂認定こども園を現在地で早期に改築を【掲載】 ②通学支援バス【掲載】 ③行政情報の共有を急ぐべきだ【掲載】 ④鳥獣処理施設の運営 ⑤燃料費高騰による漁業への影響は	16	中村 茂 議員 ①「人権尊重の町」は自負できるのか【掲載】 ②緊急事態の有害鳥獣対策 ③町総合計画後期基本計画の留意点
11	西村 龍平 議員 ①短期的視野における観光業への支援と育成について【掲載】 ②中長期視野における観光業のビジョン、具体的アクションプランについて【掲載】 ③ふるさと納税のサービスメニューについて【掲載】 ④浜坂高校の他高校との優位性に向けた協議について（浜坂高校の将来に向けた存続に関して）【掲載】 ⑤2つある観光協会の今後について【掲載】	17	重本 静男 議員 ①高齢者福祉の充実について【掲載】 ②子育て支援の拡充について【掲載】 ③森林整備について【掲載】
12	澤田 俊之 議員 ①農業政策について ②教育環境について【掲載】 ③行政機関と議会の関係について【掲載】	18	浜田 直子 議員 ①温泉を活かした、町づくりの充実について【掲載】 ②きれいな町を目指した対応と農地、空地の有効活用について【掲載】 ③浜坂高校生への緊急時の通学支援について【掲載】 ④保育環境の充実について【掲載】
		19	池田 宜広 議員 ①我が町の財政状況について【掲載】 ②病院運営について ③除雪体制について【掲載】 ④教育体制について

※質問は通告受け付け順に掲載しています。【掲載】は記事にした質問事項です。



河越 忠志 議員



選挙結果に基づく、二期目の町政運営は

町長 一期目と同様、住民目線を第一に進める

問 4割の得票で当選された一期目の当初、「全ての町民の意見を聞きながら町政運営を行う。」と表明されたが、約7割の得票での第二期目の町政運営の方針はどうか。

町長 当初、総勢500人近い町の組織運営には、難しさを感じた。町を代表するという役割の重さを改めて感じている。二期目においても選挙結果に関わらず「住民と共に歩む」というスタンスでいく。

問 一期目は、コロナ感染症という大きな困難があったが、ケーブルテレビや町広報により町民との情報の共有を図ってきた。「共に町づくりを考える」スタンスだ。一期目も二期目も基本的には同じ考えで取り組んでいく。

問 実際に町政運営を行っていく上での課題の認識はどうか。

町長 まずは、住民目線を基本に事業の推進を図りたい。

それから、兵庫県下41市町の中で1人当たりの所得が最も低いという大きな課題があり、具体的な手を打つ

ていきたい。

問 町長の思いを実現していく上で様々な困難もあったと思う。一期目は、町当局も議会側も丁寧さが足りなかったのではないかと思う。議会の場だけではなく、議会外においては様々な活動が重要だ。様々な交渉あり、議論あり、その上で知恵を出し合って施策を実現していくという町民の期待に、応えられなかったように思う。

町長 応えられなかったとは思っていない。一期目の後半は、コロナ対応・コロナ支援策

に追われた背景があり、前政権からの仕事の後始末もあった。そういう意味で、一挙に公約を果たせないことは仕方ないと思う。

果によれば、民意とねじれた意見が議会の中に多くあったことだと思う。



どう整備されるか懸念される浜坂認定こども園

こども園の今後の方向性は

町長 現在地周辺で一刻も早く進めたい

浜坂認定こども園の今後



森田 善幸 議員



問 今回の選挙結果により、多くの町民が、現在地周辺での早期の改築を望んでいることが明らかにになった。町長はその民意をくみ取り、確実に現在地周辺での改築を進めていくべき。今後の方向性とスケジュールを問う。

町長 現在地周辺は、地域住民が喜んでいただけの場所である。この周辺を子ども未来ゾーンと名づけて、子どもたちが健やかに成長できる夢や希望が

描ける場所になるように、一刻も早く建築を進めていきたい。

こども教育課長 1月の上旬までに庁舎内での内部調整協議を進め、総合教育会議で教育委員にはかり、再度調整の上で、次の民生教育常任委員会で協議してもらい、その後次年度予算調整を行っていく予定である。

問 浜坂認定こども園の改築が遅れたことで、大庭認定こども園との統合を踏まえた改築の議論が大きくなった。出生数の動向や、町財政の効率化を考えると

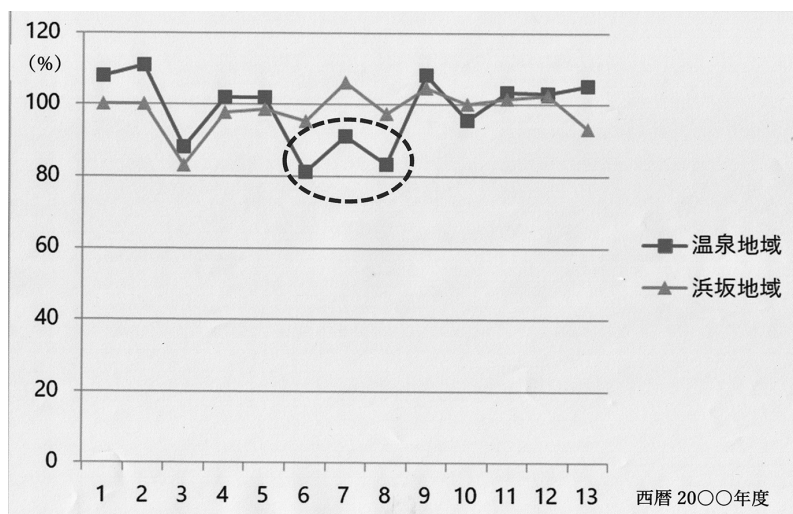
描ける場所になるように、一刻も早く建築を進めていきたい。

統合改築論が起こるのは当然だが、しかしながら、保育所の整備と出生率には、かなりの相関関係があるとの会計検査院の論文もある。そこで本町の2000年以降の浜坂地域と温泉地域における保育園・幼稚園の統合と、出生数の変化及び就学時までの社会流出との関係関係を分析してみた。

浜坂地域の幼稚園・保育園の統合は比較的に9園あったものが2009年に現在の3園体制に徐々に移行した。温泉地域は2005年に8園が一度に1園に統合された。出生数の変化をみると浜坂地域では、徐々に減少しているが、温泉地域は統合の年から急な減少がしばらく続いた。また、統合の年から数年間、生まれた子どもの小学

校入学前の社会流出が顕著にみられた。この結果より、統合を検討した後に改築するようでは、さらなる出生数の低下や若い世代の町外への流出が懸念されるが、町長の見解は。

町長 温泉地域で統合された以降の3年間は2割近い流出がよく分かる。子育て環境の在り方、データを読み解く中で、スピード感を持って対応をしたい。



浜坂・温泉両地域の年度ごとの出生数に対する小学校入学率をグラフ化したもの。温泉地域の統合後3年間の流出が見られる（森田善幸作成）



竹内敬一郎 議員



死因の第1位を占めるがんの検診を推奨すべき

町長 受診率の向上のために、PR活動を行っていく

がん対策

問 新学習指導要領に基づき、中学校では今年度から本格的ながん教育が実施されているが、本町の取組みは。

教育長 知識を学ぶだけでなく、将来課題に直面した時にどのように考えて行動できるか、思考力等を養うための教育を行っている。

問 外部講師を活用して、命の尊さを学ぶ環境づくりが大切と考えるがどうか。また、服務規律の徹底はできているのか。

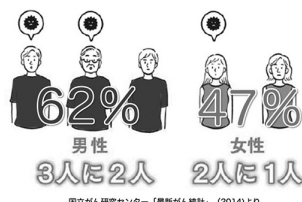
教育長 関係者と連携を取り、検討していく。診断方法や治療薬の進化で、がん患者の生存率は伸び続けている。検診を推奨すべきではないか。

町長 町ぐるみ健診の中でがん検診も行っている。

がんは人生の近くにあるもの



一生のうちにがんになる可能性



新型コロナウイルス感染のリスクを避けるため、がん検診の受診率が減少している。

いる。早期発見・早期治療が大事である。

地方創生に向けたSDGsの推進

問 本町の具体的な取組はあるのか。

町長 太陽光発電の支援制度、ごみの減量化、再資源化の推進、女性

参画の促進等に取り組んでいる。また、第2次新温泉町総合計画(後期基本計画)にSDGsの目標を盛り込んでいく。

問 住民に理解してもらうためには、学ぶ機会が必要ではないか。

町長 推進を図るには町民の協力が必要であり、勉強の場は必要だと考えている。

問 麒麟のまち圏域の鳥取市と智頭町が、SDGs未来都市に選定されているが感想は。

町長 非常にすばらしい取組をされている。本町も温泉活用が脱炭素に貢献できると考えており、選定も含めて検討していく。

問 本年5月から7月にかけて、加藤文太郎図書館で特別展SDGsの関連図書が展示された。住民への啓発運動の取組として来年も実施してはどうか。

町長 来年度、住民票等のコンビニ交付、また、マイナポータルを利用した子育て支援の手続など、電子申請の導入を計画している。

町長 実施する方向で検討中である。

マイナンバーカードの推進

問 国内の交付数は5,000万枚を超え、人口の39.5%である。本町は37.11%で全国平均より少ない。現状をどう認識しているのか。

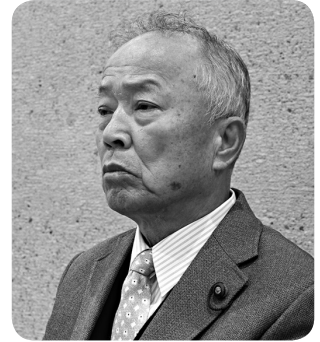
町長 他町では商品券を配布して取得率をアップしているが、本町は本人の判断で申請をしていた。

問 カードを活用して、コンビニで住民票など各証明書の発行ができる計画はあるのか。

町長 来年度、住民票等のコンビニ交付、また、マイナポータルを利用した子育て支援の手続など、電子申請の導入を計画している。

認定こども園、現在地で早期に改築を

町長 すみやかに着手する



中井 次郎 議員



問 庁舎東側の候補地は正式に委員会を開いて決めたものか。

町長 こども教育課長を中心に庁舎内の意見をまとめた結果である。教育委員会の確認を得た上で提出すべきだった。

問 どんな園舎にするのか。日本一という話があるが、床暖房、ゼロ歳児保育、病児保育は最低してほしい。具体的な内容は、整備検討委員会を再度立ち上げ、行うべきだ。

町長 新しいメンバーで検討委員会を立上げ、内容を検討していきたい。

問 岡本元町長は平成30年には改築したいと言っていた。完成はいつになるのか。

こども教育課長 できれば今の町長の任期中に改築したい。（令和7年）

大庭認定こども園との統合はあるか

問 岡本町政でも、西村一期目町政でも統合しないと決定していたが、大庭地区から統合してほしいとの声は出ているか。

町長 大庭地域からは残してほしいとの声を聞いている。

通学支援バス

問 尾田の坂を登っていく照来小学校の生徒や、安全を見守る大人の姿を目にした。子供たちの数が激減。通学する道路の安全性などを見れば、通学支援バス制度の見直しをすべきではないか。

教育長 通学のことに関しては、いろいろな所から要望が出ている。通学助成は通学距離が片道3キロ以上、通学

途中の地理とか気象とか道路状況、社会的条件を考慮し、対象地域を定めている。しかし、近年、少子化で児童数の減少により、低学年の子が1人などの集落があり、防犯上の問題も考えなければならなくなっている。今後、検討を行う。

町長 行政情報の提供に大きな格差がある。しかし、ケーブルテレビにおいては施設の老朽化、浜坂地区においては民間企業が光ケーブルを引いている。このように情報基盤が大きく違う。いま、第三者機関に諮問している。

行政情報の共有

問 ケーブルテレビを浜坂に延伸し、行政情



飯野や塩山からこの坂（尾田の坂）を通過して照来小学校に通う



西村 龍平 議員



観光ビジョン、中長期の目標数値は

町長 来訪者150万人への具体的目標を掲げ、増加に努める

観光業への短期的な支援と育成

問 ほっと新温泉宿泊助成事業は事業者にとって感謝。今後は、国や県の施策と時期は重ならないようにすべきではないか。

町長 今後の計画があれば、事業者のご意見を聞き判断したい。

問 来年に計画されるGOTO事業実施期に、宿泊以外の事業者育成はどうか。

町長 シワガラの滝のルート整備、シーカヤ

ックの体験等、魅力的な体験商品は充実を図りつつある。更に新たな商品を検討する。

中長期の観光ビジョン、具体的プラン

問 「温泉×観光」に対し、観光ビジョン、

中長期の目標数値は。

町長 観光入込客数を平成31年107万人から5割アップの150万人を以前に提示した。具体的目標を掲げ来訪者の増加に努めていく。

問 新温泉町型ワーケーションとして、浜坂サンビーチの松林の



素晴らしい観光素材を旅行商品に仕立て、国内外の有力販売サイトで売り出す事が、観光客誘致に繋がる

活用は。

町長 場所はよいが、今後の検討課題である。

問 旅行中にどう楽しむかが誘客にとって重要。着地型商品の戦略はあるか。

町長 今後、体験型ツアー、その目線、施策の充実を図るよう検討したい。

問 インバウンド誘客のプロモーション手法の新たな方向性は。

町長 今後は、台湾、香港、シンガポールを中心に現地での営業、商談会への参加を計画したい。

ふるさと納税のサブメニュー

問 返礼品に体験型メニュー等、交流人口拡大のアイテムが必要。

町長 墓の掃除をしてほしい、空き家の家の周囲の草を刈ってほしい等、観光ではないが、新たなメニューも必要

と思っている。

浜坂高校存続に向けた優位性の検討

問 他校に比べ浜坂高校が面白い、例えば台湾屏東県への修学旅行等、強い特徴を打ち出していくべき。

町長 主体が浜坂高校で、町が口を挟みにくい状況であるが、地域と浜坂高校との関係を更に密にする事が重要と考える。

2つある観光協会の今後

問 浜坂、湯村の両観光協会の今後の考えはどうか。

町長 町が合併して17年目、両観光協会にいても一本化し、様々な事業を強力に推進する必要があると思うが、両観光協会の理解が大前提である。

子どものための環境整備を

町長 子育ては地域とともに



澤田 俊之 議員



問 浜坂高校への進学率が減少している理由と対策は。

教育長 部活動、進学など自分の夢をかなえるために進路を決めており、対策としては、浜坂高校の魅力や活動を見てもらうことが重要だと考えている。

問 浜坂地域の小学校では、10人未満のクラスが14クラスあり、複式学級のある学校もある。児童数、出生数等を勘案すると、子どもたちのために小学校統合の要件を示すべきではないか。

町長 教育問題は、地域とのつながりを基本

に考えるべきである。教育委員会とも連携し、年一回程度地域の意見を集約し、方向性を打ち出していきたい。

問 長年、浜坂認定子ども園の位置問題がクローズアップされているが、どのような園にしたいか、費用の問題も合わせて議論すべきではないか。

町長 より充実した子ども園を作るよう、許せる範囲のお金を投資し取り組んでいきたい。
問 町の財政が豊かでない中、子どもたちのためにより良い園を作るため、浜坂・大庭認定こども園の統合も考

えるべきではないか。
町長 浜坂・大庭認定こども園を一つにするというのは一般的な考え方として間違いはないが、子どもが減るのであれば増やす努力を、どうしたら残せるかを地域で子供を育てるといふ努力を行政は取り組むべきだと考えている。

行政と議会のルール

問 議案は、本会議までに常任委員会にかけるといふルールがあると思うが。

副町長 その通りであり遵守すべきものと理解している。

問 本会議では、常任委員会の議員の発言する機会がないルールであり、担当常任委員会の議員の発言権を奪うことになるのではないか。

副町長 その通りだと

いうふうに理解している。
問 行政機関と議会の信頼関係を損ねるようなことが起こっている中で、徹底的に原因の追究と責任の所在を明確にし、再発防止を図るべきではないか。

町長 このようなことがないよう今後徹底をしていく。この委員会、議会の運営のルールに基づいて行うことが責任の取り方ではないかと思っている。



全校生徒が36名で複式学級がある浜坂東小学校
(令和4年1月1日現在)



米田 雅代 議員



浜坂認定こども園の現在地での改築完了は

町長 計画では令和7年10月までと考えている

問 西村町政の一期4年間、浜坂認定こども園の整備問題は、全く進まなかった。その原因はどこにあったか。

町長 町の全体構想の中で、こども園は現在地周辺でと考えていたが、議会から水害の危険性等の意見があり、着地点がなかった。

問 今回の選挙結果をどうとらえているか。

町長 選挙の公約の第一番目に現在地で推進を図ると掲げ、町長に

再度選んでいただいた。議会の思いと町民の思いがずれていた、ねじれがあったと強く思った。現在地で推進していく。

問 有権者は今、町長がどんな手法で浜坂こども園の現在地での早期整備を実行するのか、また、議会がそれに対してどのような対応をするのか注視している。

町長 町長も議会も町民の信任に応えることが求められている。どう考えるのか。

町長 一刻も早く推進を図っていきたい。教育委員会、民生教育常任委員会や議会との合意形成が得られるよう努力したい。

問 こども教育課の課長より、議会が予算を認めたら、町長の任期

中には浜坂認定こども園の改築を終えたいとの発言があったが、それは令和7年10月までには改築を完了するという理解でよいのか。

町長 計画は一応そういうことで考えている。

安全対策は

問 水の問題、安全対策は十分にとられているか。

町長 味原川の河川改修に51億かけてもらうなど、浜坂市街地、認定こども園の周辺地域においても安全対策は取られている。

こども園の理念は

問 浜坂認定こども園の理念、ソフト面について、一度広く町民に

聞く機会を持つべきではないか。

町長 整備の内容や、こども園の在り方について、新たな検討委員会の立ち上げが必要だ。

大型遊具のある公園は

問 浜坂地域の中央公園となるような大型遊具のある公園を併設できないか。

町長 子育て中のお母さん方との懇談会の場で一番多かったのが、遊び場が欲しいという意見だった。大型遊具のある公園は、今後町づくりの魅力にも繋がり、少子化対策の大きな鍵になる。総合計画、財政計画を十分に検討しながら充実を図っていく。



大型遊具のある公園の設置が望まれる

児童生徒の人権が尊重されている環境か

教育長 子どもたちの内面を理解し、見直す必要がある



岡坂 遼太 議員



ブラック校則の是正

問 全国的にブラック校則は正の動きが高まっている。ブラック校則や校内の暗黙のルールについて、どのように考えるか。

教育長 時代にあわな

いものはあると思っ
ている。保護者や生徒た
ちの思いから乖離する
ようでは駄目なので、
社会の今の在り方に常
に照らし合わせながら
考えていくべきではな
いか。

問 今後校則が変わっ
ていくと、町民の方も
理解しなければいけな
い部分がある。ホーム

ページで校則を公開す
る自治体もあるが、本
町では可能か。

髪形

- ・男子はツーブロックや左右非対称カットの禁止
- ・ヘアピンやヘアゴムの数量及び色の指定
- ・ワックス等の整髪料禁止
- ・前髪は眉より短くなくてはならない
- ・眉毛を剃ってはならない
- ・縮毛矯正の禁止

服装

- ・コートやセーターは暗い色に限定
- ・靴下の色、柄、長さを指定している
- ・女子の下着は白系及び無地

その他

- ・汗拭きシート、制汗剤の使用禁止
- ・登下校時の帽子や日傘の禁止
- ・友人宅への外泊禁止



全国の中学校で多かった校則の例

不登校児支援の在り方

問 学校外において、ICT等を活用した学

教育長 公開について
はホームページや校長
便り等様々な形での公
開も可能。町としての
方向性について検討し
ていきたい。

おんせん天国の具体的な取組状況

問 不登校児支援をど
のように考えるか。
教育長 学校への復帰
が前提とならないよう
に、社会的自立を目指
し、進めている。

問 4年前の町長選の
公約では温泉で健康
温泉で住宅施策など、
温泉と全8分野を掛け
合わせていたが各分野
の取組の現状はどうか。
町長 温泉の切り口は
たくさんあり、多目的
な利用を考えていくス
タンスで提案している。
具体的な個別の達成度
は特にない。
問 今回の選挙では全

9分野、うち5つは新
項目として掲げている。
西村町政二期目にあた
り、手立てや方向性を
期待するが見解を問う。
町長 具体的には農業
政策をメインにやって
いきたい。

問 おんせん天国で特
徴的な取組を行っている
が、コンテンツのポ
テンシャルの割に認知
度が足りない。どのよ
うに広報しているか。

町長 一番は新聞社。
もちろんホームページ、
Instagram、
フェイスブックも活用
している。

問 メディア関係者へ
の広報手段としてファ
クスを利用しているよ
うだが、プレスリリー
ス代行サービスを活用
すれば、写真や動画等
で町の魅力をより十分
に伝わる形で発信でき
るがどうか。

町長 研究する。



岩本 修作 議員



現在地での建替え費用は

町長 約10億円を想定している

浜坂・大庭認定こども園移転改築の今後

問 候補地を決めていくに当たって、今後どのように進めていくのか。

町長 選挙の結果、選挙公約で掲げている現在地で推進を図っていく。

問 なぜ、そこまで町長は現在地にこだわっているのか。

町長 検討委員会、地域の要望、自治区の要

望書の思いに応える責任がある。

問 署名された中で、幼児の名前や代筆をしたということはなかったか。

町長 チェックはしていない。署名全体の総意というのは変わらない。

問 人口が約1万3,000人、署名された方が約3,000人、他の1万人の方の意見は聞かないのか。

町長 あなたはどう思われるか分からないが、私は一定の署名の重みを受け止めている。

問 現在地に建替えをする事によって、どのくらいの費用が必要なのか。

町長 約10億円を想定している。

問 現在地での建替えで、最短でいつ開園できるのか。

町長 任期内(4年間)に開園する。

問 子どもの数が減ってきている中、浜坂認定こども園と大庭認定

こども園の統合が考えられるが、町長には統合という選択肢はないのか。

町長 大庭地区の住民の方の多くから、残して欲しいという声がある。

問 大庭認定こども園改築の計画はどの段階まで進んでいるのか。

町長 今のところ、決まっていない。まず、

浜坂認定こども園を改築する計画で進んでいる。

小学校・中学校の統合

問 こども園同様に子どもの数が減ってきている中、小学校・中学校の統合を考えているのか。

教育長 人数が減っている事実に対して考えていく必要があるが、現段階で統合は考えていない。

防犯カメラ・防犯灯の設置

問 空き巣、盗難等の被害が出ているが、犯人は見つかっていない。早急に防犯カメラを設置すべきではないか。

町長 地域の状況に合わせて、防犯カメラを設置し、安心・安全な町づくりに努めていく。



安心・安全な園舎を待ち望む

「噂の真相」で人権の町が自負できるのか

町長 文書を確認していないため、コメントできない



中村 茂 議員



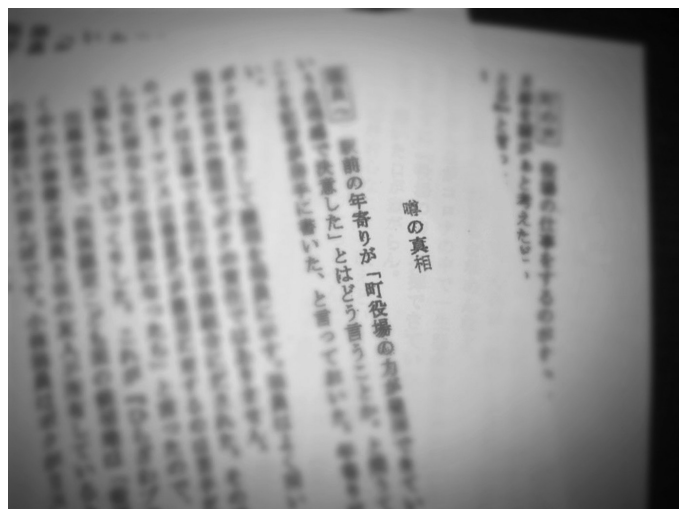
「見てない」は、議論にならない

問 少なくとも事前通告の一般質問に書かれた内容。『見てない』では議論にならない。一般質問を低く見ている（議会軽視）。現物を渡すので確認してほしい。本町には選挙管理委員会がある。公正な選挙を行うための設置だが、この事案は、問題はなののか。見た方からの答弁がほしい。副町長はどうか。

副町長 郵便で届いたと聞いたが、私には届いていない。答弁は差し控えたい。

問 残念な状態で質問のしようもない。法律家ではないが、この事案は公職選挙法第23

5条「虚偽事項の公表罪」に抵触するような気がする。選挙管理委員会担当は、この条文



古老は怪文書「噂の真相」を“紙の爆弾だ、昔はよくあった”と。選挙が寝た子を起こしたのか。残念なことだ。

総務課長 条文は承知しているか。

問 この事案は町内のみならず、近隣の町にも広がっている。残念ながら、町の評価を下げる要因の一つ。他

市ではホームページに政治活動とルール等を掲載している。町民にメッセージを発信すべ

きではないか。
町長 検討してみたい。

※質問終了後、翌日、本会議の冒頭に、文書を確認した結果の町長の答弁があった。「文書を確認したがコメントしない。」理由を聞くと「それもコメントできない。」であった。

誹謗中傷等の文書「噂の真相」の所感

町長 そういう文書が回ったことは聞いているが、具体的に文書を見ていない。

問 候補者は大きな決

断と覚悟をもって立候補する。この「噂の真相」は立候補者に泥水をかけるような行為。人権尊重の町のリーダー、町長として、これの所感を求めたい。
町長 そういう文書を見ていない段階でコメントはできないが、特定の人物の人権を無視したような文書であれば、非常に残念に思う。
問 町が進める人権教育、啓発の推進において問題はなののか。
町長 文書を確認していないので、いいも悪いも、それを問題にするということも含めて、お答えできない。



重本 静男 議員



高齢者福祉の総合的なサービスの提供が必要

町長 安心して生活できる支援の推進を図る

高齢者福祉の充実

問 本町の高齢化率は40%を越え、兵庫県下で3番目に高い。高齢者福祉の総合的なサービスの提供が必要ではないか。

町長 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画で、3つの方針を基本的な柱として、安心して生活できる支援の推進を図る。

問 高齢者福祉タクシー助成事業の対象を

世帯から個人に拡充した。更なる施策の充実を問う。

町長 高齢化率の伸びや運転免許証自主返納者の増加に伴い、利便性の向上や生活範囲の拡大促進を目指す。利用枚数の上限の見直し

や遠い地域の配布枚数の増加を検討する。

問 認知症サポーター

の活躍の場はあるのか。今後の方向性は。

町長 認知症サポーターは約3,200名。認知症を正しく理解すること、本人や家族



運転免許証自主返納者への交通手段の確保が大事

を見守る住民が増えた。

いきいき百歳体操や認知症カフェなどの活動とマッチングし、孤立せず安心して社会参加できるよう働きかける。

問 近年、高齢ドライバーによる重大な事故

が増加していることから、運転免許証の自主返納が増加している。助成をすべき。

町長 返納の際に運転経歴証明書の発行手数料の1,100円を全額補助している。路線バスの半額補助、温泉施設の入浴料の割引などの特典がある。

子育て支援の拡充

問 子育てにかかる経済的負担の軽減や、安心して子育てができる環境整備が重要である。認定こども園の給食費は無料化になっているが、小・中学生への拡充はできないか。

町長 選挙公約でもあり、小・中学生の学校給食費の半額支援制度を考えている。財源にふるさと納税を使う。

問 浜坂認定こども園の早期改築が急務である。改築の時期を問う。

町長 財政協議、庁舎内の担当課での協議、現在検討中である。予定として、令和7年度中であるが、一刻も早くスピードアップを図る。

森林整備の必要性

問 町の面積の83%が山林である。森林の施業離れが目立ち、森林は荒廃しつつある。森林譲与税を活用して事業の展開を提案する。

町長 対象となる森林整備は、森林経営計画の作成が困難な条件不利地であり、現在間伐を実施している。

保育環境の早期整備を希望する町民の声を多く聞いているが

町長 早急に進めたい



子どもたちは、地域の宝。安全で楽しく過ごせる環境を

保育環境の充実

問 浜坂認定こども園・大庭認定こども園をはやく整備するよう要望書の署名を集めて

町長 早急に進めたい。保育士の実情が、



浜田 直子 議員



いるときに町民の声を多く聞いた。放課後児童クラブの併設も全国的な流れでもあるが。

問 保育園の併設も全国的な流れでもあるが。

子どもたちの思い出になると思うが。

町長 保育士が笑顔でいることが良い影響を与える。現場の声を聞きながら対応している。

問 学校園とその周辺や駅の防犯カメラ・防犯灯を増やすべきでは。

町長 今後も増やしていく。

温泉を活かした町づくりの充実

問 おんせん天国は、浸透してきた。浜坂・七釜の温泉施設に小さなリフレッシュパーク湯村のようなトレーニングやスポーツもできる設備を増やしてはどうか。

町長 温泉で町づくりの推進を図る。現在、地域活性化企業人による健康プログラムを進めている。

問 ぜひ、ソフト面の充実もすすめてほしい。

湯治のように温泉、健康、観光を結びつなげるプランの多様化の可能性はどうか。

町長 温泉プラスXの多面的な活用を考える。

問 町民にもっと温泉利用していただくような企画はどうか。

町長 温泉めぐり、チケット、サービスデー等を考え推進したい。その上で設備の充実を図る。

問 おんせん天国室を課にすることで、庁舎内の連携がとりやすくなるのではないか。

きれいな町を目指し、農地、空地の有効活用

問 来町者を歓迎し、もてなす気持ちを表すにはどうするか。

町長 案内板が不足している。しかし定期的に花の苗等配布し、各地区、各施設で管理さ

れている。

問 山間部での空き地や耕作放棄地が目立つ。特例で農地の有効利用は考えられないか。

町長 5年10年後を見据えて「人・農地プラン」を策定し、取り組みが始まっている。

農林水産課長 国から耕作放棄地、荒廃地、林地化の速やかな地目変更行政が入るよう通知がある。

問 公共施設の管理と整備時期の問合せは。

浜坂高校生への緊急時の通学支援

問 居組の通行止めにより浜坂高校生の通学の負担が増えた。緊急時の支援策はあるか。

町長 現在に対応できないが、関係課で検討していく。



池田 宜広 議員



除雪業者体制の維持は可能か

町長 機械貸与などで可能と考えている

問 以前にも何度かこの課題を提言してきた。

年々、業者数、建設業従事者数が減少の一途をたどっているが、現状をどう捉え、課題と考えているのか。

町長 除雪作業は、一部は直営もあるが、建設業者を中心とし、業者委託に頼っているのが現状である。従事者の確保に苦慮されていることは聞いている。業者からの意見も聞きながら、支援し、体制

問 維持に努めたい。予算措置等で解決できるものと、できないものがある。予算措置の一例として、建設

業者・建設業協会などと連携をし、若手従事者免許取得時の支援制度の構築などを提言しておきたい。



住民生活を守る意識で早朝よりの除雪作業、ご安全に

町長 良い提案と受け止め検討をする。

問 狭小道路の除雪も大きな課題の一つだ。除雪機の貸与は良いが、やはり作業者の確保に苦慮しているのが現状だ。安全面も考慮し、オペレーター付きでの貸し出しが望まれる。

町長 今年、新たに機械を導入しており、地域の方々、消防団員の方々に協力を得て作業をやってほしい。

厳しい町財政、後世にどうつなぐ

問 全国的にどのような策を打っても人口減少に歯止めがかからない。しかし、私たちの責務として必ず後世につなげなければならぬ。どう考えているか。

町長 町の総合計画、財政計画などそういったものが基本になる。

問 町長就任時から増

加傾向にある基金（ふるさとづくり寄付金）もあるが、減少傾向にある基金（財政調整基金）もある。本町では、全てではないが、公共建物が老朽化してきている。そういった施設の今後を見据え、新たな基金創設の考えはないか。

町長 基本的には考えていない。現状でやっていく。

問 ふるさと寄付金制度は恒久財源となるのか。制度は廃止にならないのか。

町長 十数年続いた制度、そう簡単にはなくならないと思っている。

問 近年、コロナ禍等、不測の事態が起きている。微増でもよいので基金の積み増しをすべきではないか。

町長 基金をどう活かすか考えていきたい。

総務産建常任委員会

12月15日開会

牧場公園課

グリーンシーズン誘客対策支援事業

Q 山頂部のブランコ整備の目的は。

A スキー場の冬期以外の誘客コンテンツとして、SNS映えする木製ブランコを設置した。

建設課

令和3年度町道除雪計画

Q 狭い道路の除雪は。

A 小型除雪機を社会福祉協議会に2台分補助し、操作者は地域に任せる。消防団には貸出す予定である。

Q 通勤・通学に間に合わせて欲しい。

A 特に通学の時間に支障が出ないように努力する。

和泉谷残土処分場の8号岩砕堰堤

Q 損失についての責任と経緯は。

A 県新温泉土木事務所浜坂道路第1課の委託施工業者が誤って約半分を損失した事が9月に判明、現在損失事実も含めて確認中。早急に町長が申し入れを行う。

税務課

令和4年4月に改正される国民健康保険税条例の一部改正

Q 未就学児がいる場合の半額減額の児童数は。

A 38人が対象である。

商工観光課

町内共通商品券発行事業

Q 使用された実績は。

A 使用期限が12月末となっているので1月に公表する。

ほつと新温泉宿泊助成事業

Q 面白い活用プランはあったか。

A 時期が蟹シーズンと重なったため、蟹プランへの活用が多い。

Q 重点ターゲットである関東からの観光客が少ないが。

A 首都圏からの問い合わせは多かったが、実績は少なかった。

観光誘客促進事業

Q 「かに読本」の配布先はターゲット地域と連動しているか。

A 新温泉町内の旅館

民宿、役場、漁協に配布している。

Q 印刷数が4,000部に減ったことでの影響はあるか。

A 配布の期間に影響している。

企画課

第2次新温泉町総合計画の後期基本計画

Q 観光入込客数、外国人宿泊者数の令和8年度目標数値の根拠は。目標が少なすぎるのでは。

A 商工観光課に確認を行う。

Q 町内に数百件空き家があるにも関わらず、空き家バンクの登録件数の目標が低すぎるのではないか。

A これまでの実績に基づいて令和8年度目標を15件とした。

Q 町公式フェイスブ

ックのフォロワー数の目標が低すぎるのではないか。

A 検討する。

ケーブルテレビ整備事業

Q 民間事業者との連携に移行するとの事だが、「公設民営」は比較検討しないのか。

A 検討委員会において、民設の方向性を選んだため、公設民営は考えていない。当初見込めなかったインターネット事業も、民間事業者によるカバーエリアは拡大している。

総務課

職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則等の一部改正

Q 町職員と会計年度任用職員の差は。

A 概ね近づいている。

民生教育常任委員会

12月16・20日開会

子ども教育課

浜坂認定こども園整備候補地選定に係る今後の予定

Q 候補地の選定は何か。

A 第二期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会の結果をベースに複数案検討し、総合教育会議で候補地（案）を決定する。

Q 令和4年度当初予算（案）に含まれる予定の関連予算は何を指すか。

A 用地取得費と補償金。建設費は含まない。

生涯教育課

第4次新温泉町男女共同参画社会プラン

Q アンケートの分析にアドバイザーはどのように関わったか。

A 集計した住民意識調査を課で分析し、男

女共同参画プランの素案を作成した。その素案をアドバイザーに確認した。

Q 各種団体女性部との連携とあるが、各種団体にしっかりと女性が入り活躍できる環境を構築することを計画すべきではないか。

A 検討する。

町民安全課

新温泉町交通安全対策基金条例の制定

説明 令和3年度末で兵庫県市町交通安全共済組合が解散となり、設立基金等が関係市町に分配されることを受けて、交通安全対策の推進を目的とした基金を設置するため条例を制定するもの。当町の設立基金分配金は3,562万8,410円。

Q 基金の運用や管理はどこか。

A 基金の管理及び啓発事業は町民安全課、施工は建設課。両課でよく協議して活用する。また、窓口は地区要望とする。

Q 飛び出し坊やが朽ちてきている。良い啓発の道具なので基金を活用しては。

A 道路の場合、町が設置するのは難しい。地区や団体が設置する流れで検討する。

健康福祉課

新温泉町障がい者基幹相談支援センター

Q 現状と比べてどう変わるか。

A 国から各市町村に基幹相談支援センターを設置するように指示がある。現在行っている事業と変わりはなく、名称が変わるだけである。

新型コロナウイルス追加接種（3回目接種）

Q 町外で接種した1,114名には町のスケジュールより早く接種した人もいるが、追加接種について、希望する時期に早期にできないか。

A 1,2回目接種と同様に集団接種・個別接種を予定している。町内接種者においては、希望を伺い選んでもらう。急ぐ住民の対応は医師会と相談したい。

新温泉町国民健康保険条例の一部改正

説明 産科医療補償制度の掛金が16,000円から12,000円に引き下げられるが、少子化対策としての重要性に鑑み、出産育児一時金等の支給総額について42万円を維持すべきとされたこと

を踏まえ、所要の改正を行うものである。

公立浜坂病院

PCR検査

説明 12月15日から新規納入した全自動遺伝子解析装置スマートフォンによりPCR検査を直営で実施している。国の補助金を活用し導入しているため、自費検査には使用できない。

新型コロナウイルス感染症対策の発熱外来の実施状況

説明 令和2年11月～令和3年11月末現在で累計341件実施している。これまで公表していなかったが、9月28日付で厚生労働省から公表による診療報酬加算の通知があったため、指定医療機関であることを公表した。

トピックス

コロナ対策の財源に

昨年来、新型コロナウイルス感染症対策が国でまん延し、2年近くにも及ぶ感染拡大により、住民生活に深刻な影響を及ぼしている。本町においても、感染への不安や収入減少による生活困窮、地域経済の低迷等に対する取組を行っているが、いまだに住民生活に大きな影響があり、引き

続き支援を行う必要がある。

この為、新温泉町議会においては、議員16名のうち15名分の75万5千円の政務活動費と行政視察活動費の48万円の計123万5千円を減額し、新型コロナウイルス感染症対策事業の財源の一部として有効活用してもらうよう申し入れを行った。



一般質問の動画QRコード掲載を開始

新温泉町のホームページでは、議会一般質問の動画を配信しています。

スマートフォンをお使いの方は、QRコード読み取りアプリを使用して簡単に動画を見ることが出来ます。



意見書

●コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

理由 新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしている。国民生活への不安が続いている中、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地域の実情に応じた行政サービスを持続的に提供するため、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を国に求めるため。

(全員賛成で可決)

任命同意

●教育委員会委員

宮口久美夫 (浜坂)

(同意)

任期は、令和3年11月29日から4年間

議会日誌

(10月)

4日 美方郡広域事務組合議会 議会運営委員会

5日 第16回新温泉町子牛共進会

5日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会、兵庫県町議会議員会臨時総会《神戸市》

8日 北但行政事務組合議会定例会《豊岡市》

8日 議会広報調査特別委員会

11日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会《香美町》

13日 美方郡広域事務組合議会定例会《香美町》

14日 議会広報調査特別委員会

17日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会、議会運営委員会《豊岡市》

(12月)

22日 第22回宇野雪村賞全国書道展賞状授与式

26日 北但行政事務組合議会世話人会《豊岡市》

29日 議会運営委員会

30日 民生教育常任委員会

3日 美方郡広域事務組合議会臨時会《香美町》

4日 北但行政事務組合議会臨時会《豊岡市》

5日 第111回新温泉町臨時会

8日 議会運営委員会

10日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会、議会運営委員会《豊岡市》

(11月)

4日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会、議会運営委員会《豊岡市》

8日 美方郡広域事務組合議会定例会《香美町》

11日 議会広報調査特別委員会

13日 美方郡広域事務組合議会定例会《香美町》

14日 議会広報調査特別委員会

17日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会、議会運営委員会《豊岡市》

20日 第110回新温泉町臨時会

21日 新温泉町総合防災訓練 防災講演会

効果の点検・検証

新温泉町議会では議会改革の一環として、質疑・質問の目的である「現行の政策を変更、是正あるいは新規政策を採用させること」などの効果を点検・検証します。

子育て支援策の一環として出産祝い品の充実を！ （令和元年9月議会一般質問他）

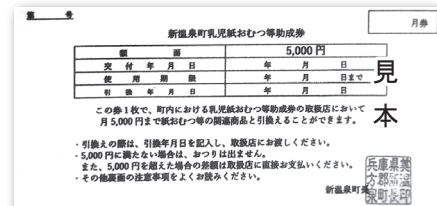
【質問】 本町の出産祝い品は食器セットであるが、もっと子育てに必要な物品や商品券等で対応すべき。他町は現金や商品券、また紙おむつやチャイルドシートなどの助成を行っている。

【町長答弁】 公約で掲げたが、本町は財源がきびしい。今後ふるさと納税などの活用を検討していきたい。

【効果】 令和3年度に、出産祝い品贈呈事業の拡充（1人5万円分の商品券）と子育て世代包括支援事業の拡充（子育て世代包括支援センターより産前産後ケアの実施、紙おむつ等購入費助成）が始まりました。



「はっぴーべいびーちけっと」



「紙おむつ等購入券」

コロナの影響で大きく売上が減少した店舗への支援策は？（令和2年6月一般質問）

【質問】 コロナの影響で小規模の小売店や飲食店は大きく売り上げを減らしている。店舗規模や業種を限定した給付型商品券、あるいは、高プレミアム率の購入型商品券事業の規模を拡大して実施すべきではないか。

【町長答弁】 この度は20%プレミアムの商品券事業を県の補助事業を用いて計画している。給付型商品券は郵送料等の経費がかかるので、検討課題である。

【効果】 令和3年5月から6月まで県・町の商店街等のコロナ対策の補助事業として浜坂ニコニコサービス店会と湯村温泉商店街振興会に対して20%プレミアムの商品券事業「ニコニコdream商品券」・「GoGo! ゆむら券」が実施された。

その後令和3年7月から12月まで町単独事業として30%プレミアムの「スーパーワクワク元気券」事業が実施され、広範囲の業種・事業所に利用された。



3種類のプレミアム商品券事業がコロナの経済対策として3年度に実施された

【お願い】 みなさまからのご意見をお待ちしています。



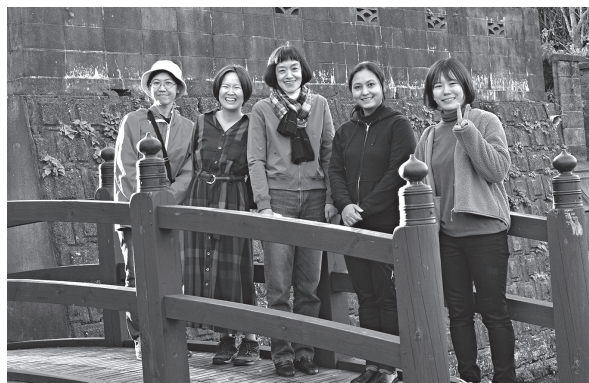
挿し絵 木本博明氏

「あたりまえの枠をはみ出す」

ブンダバー

代表者 松岡千都

活動内容…子どもから大人まで楽しめる自然体験や、地域や社会の課題をテーマにいろいろな人が関わりやすいイベント企画・運営をしています。11月には第1弾の企画として「ミヤンマー支援バザー」を行い、寄付や収益金はNGO「懐」を通じて早速ミヤンマーの孤児施設の食料購入費になりました。今後は、1月に香美町出身の大学生グループと共同で行う「哲学カフェ」、春からは年間を通じて行う「自然体験・観察会」など。また、地域のリユースをテーマとした「中学校制服リユースプロジェクト」も始めました。



ブンダバーメンバー

を終えた世代まで色とりどりのメンバーです。**セールスポイント**…「あたりまえの枠をはみ出す」を活動のモットーとしています。自然体験や国際交流、哲学などの活動を通して、多様で多面的な視野を持つ次世代を育てて行きたいと考えています。

今後の抱負…少しずつ活動を増やし、より広く様々な人や地域と関わる団体にしていきたいです。また、活動に参加してくれた子どもたちが、将来、自分の周りや社会の課題を自ら発見し、解決していくような人になることを目指していきたいです。

皆さんにお願いしたいこと…

おうちに眠っている中学校制服がありましたら、是非ご寄付ください！現在、ブンダバーでは中学校制服リユースプロジェクト実施中です。おさがり情報もブンダバーホームページをご覧ください。

いつから・きっかけ…令和3年9月にできたばかりの団体です。お互いに「多様性」や「違い」を発見して、受け入れられるような場が必要だと感じ、同じ志を持つ仲間が集まって立ち上がりました。**メンバーは**…新温泉町を中心に但馬各地から集まっています。さらに出身地も東京、神戸、ミヤンマーなど様々、世代も20代から子育て

ださい。**その他**…「ブンダバー」はドイツ語でwonderfulの意味。こども達と一緒にたくさん驚き・発見・感動をして、好奇心のタネをまき、芽を育てていきます。

編集後記

謹賀新年。一昨年12月の降雪で最長5日間にわたる集落の孤立が頭に浮かびます。雪害対策と併せて、改めてライフラインの重要性を痛感しました。年末年始も、早朝からの除雪対応、水源の渇水状態での給水車の出勤、停電によるワクチン保管の緊急対応等、行政の住民生活を守る活動には、敬意と感謝を申し上げます。

今年の干支は「寅（とら）」。目先の利益にとら（寅）われず、大局的な視点を持って日々精進していきたいものです。よろしく願いします。（S・N）

議会広報調査特別委員会

委員長	森田善幸
副委員長	岡坂遼太
委員	中村茂
	西村龍平
	澤田俊之
	米田雅代

発行者 議長 宮本泰男